

# 町公民館だより

編集 日野町公民館 〒689-5131 日野町黒坂1243番地 1  
 電話：74-0212 FAX：74-0105  
 E-mail：kouminkan@town.hino.tottori.jp

## 一年間の生涯学習を終えて ▼おしどり学園閉講式



▲大江賢次の郷土愛を語る竹内さん  
 ◀皆勤賞を受け取る  
 塔川さん(左)

3月25日、おしどり学園閉講式が行われ、多くの来賓が出席する中、学園生が一年間の学習を振り返りました。

学園生には、生涯学習と相互理解の精神をもって積極的に学んだことをたたえて修了証が贈られ、学園生を代表して松原笑子さんが受け取りました。

また、一年を通して一度も欠席のなかった塔川美智子さんから3人に皆勤賞が贈られました。

閉講式終了後には、「大江賢次の世界」と題し、郷土文芸研究家の竹内道夫さんが講演を行

いました。

竹内さんは、大江賢次の日野郡溝口(当時)での出生の生い立ちから、名作「絶唱」執筆の経緯、ほかの文芸作家とのかわりを紹介しました。また、大山を父、日野川を母と表現し、日野郡出身であることを自身の誇りとして生き抜いた作家人生を詳しく解説していきま

ました。学園生は、郷土愛にあふれた大江賢次について知り、自分の中に眠るふるさとへの思いを一層強くしている様子でした。

## 生涯学習でふれあいと交流の輪を広げませんか

### 平成31年度おしどり学園生募集

町内の誰でも気軽に参加できる生涯学習の場です。年齢制限などはありません。あなたも気軽に参加しませんか。

**期間** / 4月から毎月1回(毎週金曜日。ただし、4月と3月は別日)

**場所** / 町公民館(当日は、町営バスを臨時運行します)

**内容** / ▼一般教養講座…自然・歴史・健康など、さまざまなテーマで講師を招き、学習を深めます。▼グループ専門講座…手芸、生け花、写真、健康、音読のグループに分かれて活動します。▼町外研修…年1回、町外で研修を行います。

#### <おしどり学園 開講式のご案内>

**日時** / 4月26日(金) 午前9時30分～  
**場所** / 町公民館 **講演** / 中村栄治さん(弁護士) **問合せ** / 町公民館(電話 74-0212)

## 今から始める！ インターネット教室 (パソコン・スマホ)

町公民館では、中海テレビ放送による初心者向けのインターネット教室を開きます。お気軽にお越しください。

**対象** / 町在住の20歳以上の人(定員：8人/回)

※中海テレビ放送への加入の有無は問いません。なお、応募者多数の場合は、抽選の上受講者を決定します。

**受講料** / 無料 ※パソコンコースでは、テキスト代(1,000円)が別途必要になります。

**内容** / 電源の入れ方などの基本操作や活用術、インターネットの利用について など

※使用するパソコンやスマートフォンなどは、中海テレビ放送が用意します。

コース	開催日	時間	会場
パソコン	5月20日(月)	午後1時～午後4時	町公民館・図書室
スマートフォン	5月22日(水)	午後1時～午後3時	町公民館・図書室

**申込み** / 5月10日(金)までに、中海テレビ放送(電話0120-727-868)へご連絡ください。

## 出前公民館真つ盛り！

▼黒坂2区と6区で出前公民館



▲みんなで料理を囲み、会話も弾む

町公民館では、2月4日に黒坂2区、18日には黒坂6区で、出前公民館を行いました。

今回は、どちらの自治会も料理教室を開催。町食生活改善推進協議会の皆さんを招き、「焼きキノコのマリネ」「チンゲン菜の菜めし」など、季節の旬の味を堪能しました。

午後からは、映画会を開きました。上映作品はどちらの自治会も太平洋戦争をテーマにしたもの。参加者の皆さんの中には、戦時中の生活を体験した人もあり、戦争についてあらためて考えさせられました。

## 料理力アップの機会に

▼男性の料理教室



▲これで得意料理がまた一つ増えた！？

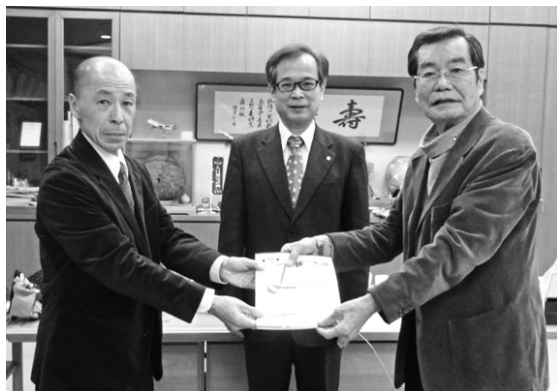
2月21日、町公民館で「男性の料理教室」を開きました。

当日は10人が参加。町食生活改善推進協議会の皆さん指導の下、野菜をたっぷり使った「ドライカレー」「焼き野菜のタルタルソース」、そしてゴマの風味が効いた「ふわふわ卵スープ」などを作りました。

男性の参加者は6人でしたが、レシピごとにグループに分かれ、手際よく調理していききました。調理後はみんなで温かい料理を囲み、おいしくいただきました。料理の腕がぐんとアップした一日となりました。

## 地域防犯に役立てて

▼青パトへ支援金の贈呈



▲川端会長(右)へ支援金を手渡す松村さん(左)

3月19日、ひの歌謡・演芸友の会(松村譲代表)が、町役場を訪れ、地域防犯・生活安全パトロール(青パト)に支援金を手渡しました。

これは、17日に町文化センターで開催された「ひの歌謡・演芸大会」の収益の一部。同会の松村さんはこれまで、東日本大震災の被災地などに支援金として寄付を行ってきました。

松村さんが青パトの川端博文会長に支援金を手渡すと、川端さんは「今後の活動費として活用させていただきます。地域防犯に一層努めていきたい」と話し、感謝の気持ちを表していました。

## ふるさとのことば

～日野弁なんずかんず～ 第69回

### アワか、クリか。

～地名が語る 日野の歴史⑬～

先月号に引き続き「幻の村シリーズ」を。日野町福長・久谷地区の西側の山中に、かつて「栗谷村(あわたにむら、あわたにむら)」がありました。

1734(享保19)年の文書では「小栗谷村」とあり、家数が1と、ごく小規模な村であったことがわかります。さらに、江戸中期には無住となり、隣の井原(井ノ原)村からの出作によって耕作が行われていたと考えられます。その後、1877(明治

10)年に、榎原村ほか2村と合併し福長村となりました。と、ここで面白いのは、1711(正徳元)年の郷村高辻帳には「古八栗谷村」と記載されている、つまり、「栗」が昔は「栗」だったということです。同じ町内の「秋縄あきなま」がもと「秋綱」で、綱と縄の書き間違いから今の表記になったといわれていることを思えば、もしかすると同じような現象が栗と粟で起きていたのかもしれない。

協力:日野町歴史民俗資料館友の会 参考:「鳥取県の地名」